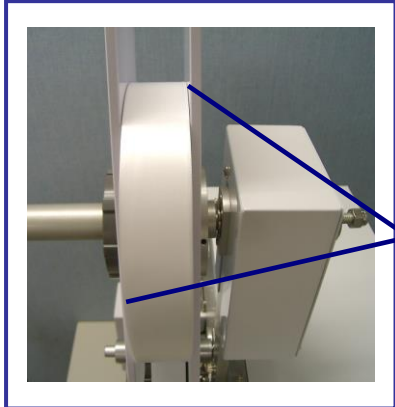


# Mercury230WL

## 簡易マニュアル

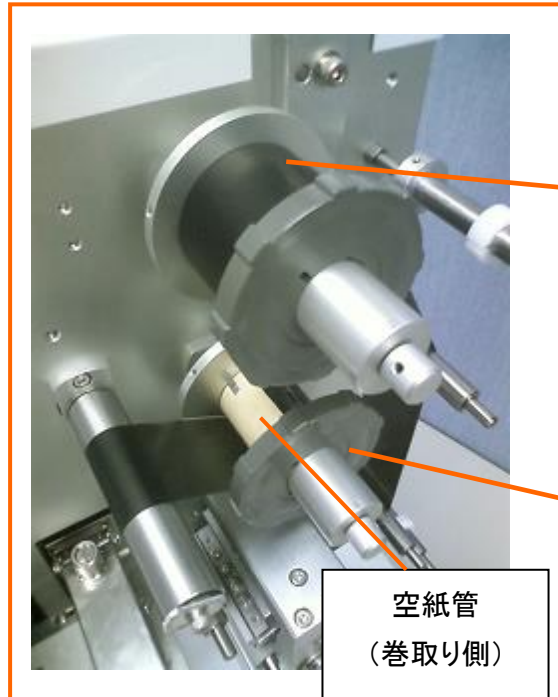
### ◎ 基本セッティング



布幅出し板

#### 《布テープのセット》

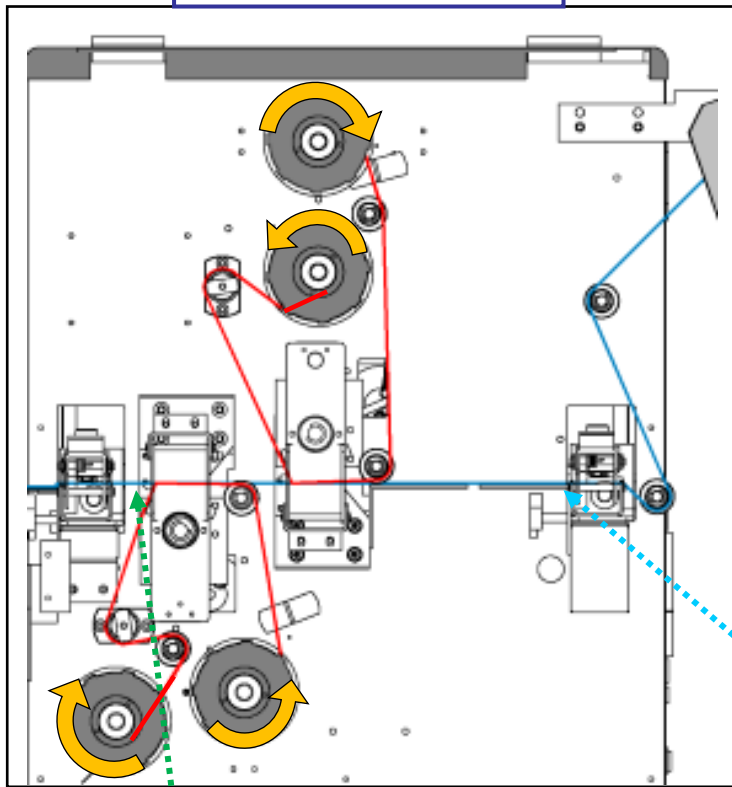
1. 奥の丸い板のピンと布幅出し板の穴を合わせ、生地テープを外側が表になるようにセットします。
2. もう1枚の布幅出し板をセットします。
3. ワンタッチガイドを右に回してロックします。



インクリボン(供給側)

ワンタッチガイド

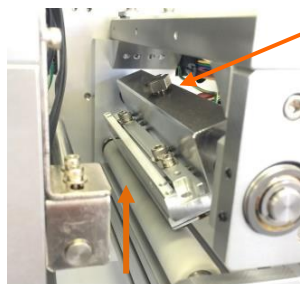
空紙管  
(巻取り側)



#### 《インクリボンのセット》

1. 奥の丸い板のピンとインクリボンの溝を合わせ、リボンが外側になるようにセットします。
2. ワンタッチガイドを取り付け、右に回してロックします。  
(外すときは左に回してロック解除)

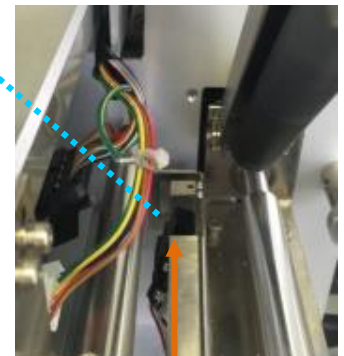
### ① テープジャムセンサー



② プラテンローラー

③ サーマルヘッド

このネジを外すと  
ヘッド部が上がります



④ テープエンドセンサー

### ◎ 清掃の仕方

定期的にも上記 ①④の箇所を、綿棒にクリーナー液をしみこませて拭きます。

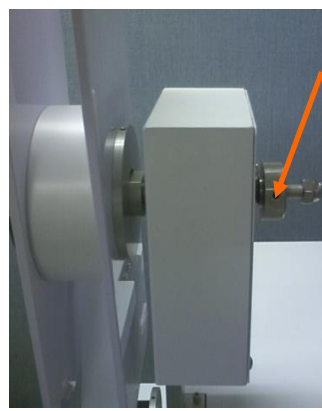
②③はウエス(布)にクリーナー液をしみこませて拭きます。

(※ 危険ですので、必ず電源を切ってから行ってください)

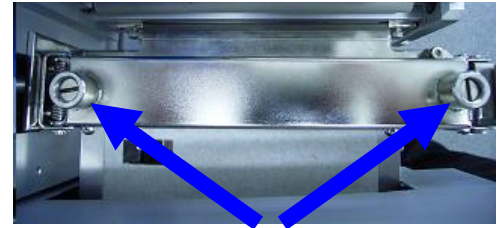
(A) リボン巻取り摘み



(B) リボンブレーキ摘み



このネジを締めると  
テープブレーキが強くなります



(A)リボン巻取り摘み・リボンブレーキ摘み  
時計回り-強 反時計回り-弱

(C)テープブレーキ

(D)布引き出しローラーの圧  
マイナスドライバー 時計回り-強 反時計回り-弱

症状	対策1	対策2
印字かすれ	リボン巻取・ブレーキを強める(A・B 参照)	リボン巻取・ブレーキを弱める(A・B 参照)
リボンしわ	リボン巻取・ブレーキを強める(A・B 参照)	リボン巻取・ブレーキを弱める(A・B 参照)
生地縁に小さなしわがたくさん入る	リボン巻取・ブレーキを強める(A・B 参照)	リボン巻取・ブレーキを弱める(A・B 参照)
生地が切れない(1本糸残り)	カッター交換	
生地が切れない(1本だけでなく繋がっている)	カッターの刃先を清掃クリーナー液と綿棒で清掃 <b>(指先のケガに注意)</b>	カッター交換
リボンが切れてしまう	リボン巻取りを弱める(A参照)	リボンブレーキを弱める(B参照)
テープが蛇行する	テープホルダーをしっかりと固定する	布引き出しローラーの圧を強める(D参照)
カッターの動きが重い	カッター交換	
テープが詰まってカッターが動作しなくなった	電源を切り、詰まったテープを除去し電源を入れる	
テープがよくローラーに巻き付く	左右均等に布引出しローラーの圧を弱める(D参照)	カッター清掃、静電気対策を行う
印字位置が上下にずれる	左右均等に布引出しローラーの圧を強める(D参照)	テープブレーキを弱める(C参照)

エラー表示	エラー内容	対策1	対策2
リボンエンド	リボンが無くなった	リボンを交換し、START を押す	センサー清掃(清掃の仕方⑤参照)
テープエンド	テープが無くなった	テープを交換し、START を押す	
テープジャム	テープがカッターの前で詰まった	テープの詰まりを取り除き、START を押す	センサー清掃(清掃の仕方①参照)
カバーオープン	カバーが開いている(オプション)	カバーを閉じて、START を押す	
スタッカーフル	スタッカーが下がりきっている	スタッカーを上げ、START を押す	
ヘッドジャム	ヘッド上下の異常	電源を入れ直す	ヘッド固定ネジを締め直す
データイジョウ	不正データを検出	電源を切り、数秒待ってもう一度電源を入れる	データ内容確認
ヘッドイジョウ	ヘッド温度が70度異常を検出	電源を切り、ヘッド温度が下がるまで放置	ヘッド交換

※ 上記の対策をしても直らない場合は、お気軽に弊社までお電話下さい

その他、ご質問・ご要望・サプライ品のご注文は各営業所までお願いします。

お気軽にお問い合わせください

**A-POS**  
株式会社エイポス

E-mail: info@a-pos.co.jp  
京都本社: 京都府向日市寺戸町蔵ノ町 15-4 TEL: 075-950-0227  
東京支社: 東京都台東区柳橋 2-2-2, 1F TEL: 03-3861-2471